

參考資料

主な用語の定義

用語	用語の定義
児童	18歳未満の者（児童福祉法）
乳児	1歳未満の者（児童福祉法）
幼児	満1歳から、小学校就学の始期に達するまでの者（児童福祉法）
合計特殊出生率	一人の女性が一生に産む子どもの平均数
子ども家庭支援センター	18歳未満の子どもとその家族の相談支援を行うと共に、在宅子育てサービスの提供などを実施している東京都独自の事業。
ソーシャルワーク	社会福祉援助技術。福祉的課題の解決に必要とされる専門的な関わり。
ジェネラリストソーシャルワーク	個人と社会（環境）の相互作用を捉え、ソーシャルワークを統合しながら、包括的に支援していく専門的な関わり。
ソーシャルキャピタル	社会関係資本。人々の協調行動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることのできる、「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴を示す。
ハイリスク・アプローチ ポピュレーション・アプローチ	生活課題が発生しやすい高いリスク（ハイリスク）を持った人を対象として絞り込んで対処していく方法を「ハイリスク・アプローチ」という。課題を認識できる少数の人に対するアプローチは必要不可欠であるが、ハイリスクと考えられなかった多くの人に全くリスクがないとは言い難い。潜在的なリスクを抱えている可能性があるという前提を持ちながら、対象を限定せずに集団全体へアプローチしていき、全体としてリスクを下げっていくという考えが「ポピュレーション・アプローチ」である。
地域包括支援センター	介護保険法で定められた、高齢者とその家族を対象とした保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関である。
相談支援事業所	障害者総合支援法で定められた、支援が必要な障害者とその家族を対象としたサービス等利用計画の策定やサービス利用への援助、課題解決を行う機関である。

調布市児童館のあゆみ

昭和	40年	5月	調布市児童会館開設 ※ 民生部厚生課 婦人青少年係所管
	40年		「少年少女合唱サークル」「児童劇サークル」 「フォトコンテスト」「母と子の絵をかく会」ほか
	40年	11月	児童館会館ホール完成
	40年	11月	「文化の日子ども大会」「家族音楽会」
	41年	2月	「日曜大工を楽しむ会」
	42年		「電信電話展」「おもちゃ病院」など
	43年		※ 厚生課から児童婦人課へ所管変更
	45年	1月	「ピンポンパンとあそぼう」
	46年		※ 社会福祉部児童青少年課へ所管変更
	47年		お化け大会を児童館ホールにて（～62年）
	48年～		「秋の子どもまつり」
	50年	4月	東部児童館開館
	52年	4月	国領児童館開館
	53年	4月	多摩川児童館開館
	53年		「手づくり凧揚げ大会」（～60年）
	54年	4月	深大寺児童館会館
	54年		全館事業「ビッグサマーキャンプ」（～63年）
	54年		「ちびっ子野球大会」「一輪車教室」
	55年	4月	富士見児童館開館
	55年	8月	市制施行 25 周年「子ども市議会」
	56年		全館事業「児童館作品展」（～平成 13年）
	57年	6月	佐須児童館開館
	58年	4月	西部児童館開館
	58年		全館事業「すもう教室～高見山とあそぼう」
	58年		「木島平親子ふるさと交流」（～63年）
	58年		「5 館対抗バドミントン大会」
	59年	4月	緑ヶ丘児童館開館
	59年		館長制度の開始
	59年	11月	調布ヶ丘児童館開館
	60年		市制施行 30 周年こどもまつり（～62年）
	60年		全館事業「合同運動会」
	61年		「子どもの遊び場マップ」調査編集
	61年		全館事業「親子田んぼクラブ」（～平成 16年）
	63年		第 1 回児童青少年フェスティバル
平成	元年		※社会福祉部から福祉部へ 所管部名称変更

	元年		全館事業「サマーキャンプ（福島県金山町）」
	元年		各児童館にて「児童館まつり」はじまる
	2年		全館事業「サマーキャンプ（山梨県小菅村）」（～19年）
	2年		山の生活体験～福島県金山町にて（～6年）
	4年	4月	染地児童館開館
	6年	1月	第1回J's CUP 児童館対抗サッカー大会
	6年	5月	全館事業「こどもの日鯉のぼり大会」（～7年）
	6年		全館事業「ウルトラ自然探検隊」（～16年）
	8年	4月	子育てセンター事業を多摩川・染地児童館で開設
	8年		緑ヶ丘・染地児童館で児童館運営会議を設置
	9年	4月	子育てセンター事業をつつじヶ丘・富士見児童館で開設
	10年	4月	子育てセンターを子育てひろばと名称変更
	10年	4月	子育てひろば事業を緑ヶ丘・調布ヶ丘（計6館）で開設
	10年	4月	中・高校生事業として4館（国領・深大寺・西部・緑ヶ丘）で午後7時まで開館時間の延長の施行
	10年	4月	全11児童館運営会議を設置
	11年	4月	全11児童館にて子育てひろば事業を開始
	12年	4月	中・高校生対象事業として全館にて午後6時まで開館時間延長の施行
	12年		全館事業「児童館対抗スポーツ大会」
	13年	4月	※福祉部から子ども生活部へ所管部変更
	13年		「各児童館サークル発表会」⇒全館事業「交歓フェア」に
	13年	5月	全館事業「こどもの日事業（2001 未来へはばたけ調布っ子）」（～16年） ※ 16年以降「こどもの日スペシャルイベント」
	15年		全館事業「児童館よさこいチーム（跳乱舞）」（～16年）
	15年	4月	青少年ステーション CAPS 開館
	17年	3月	調布市子ども条例制定
	17年	8月	「サマーキャンプ」と「ウルトラ自然探検隊」を統合し、全館事業「ウルトラキャンプ」に
	17年		青少年ステーション事業運営委託開始
	23年		全館事業「児童館対抗スポーツ大会」から「児童館交流大会」へ
	27年		市制施行60年・児童館開館50周年
	28年		助産師による巡回相談事業を開始。 乳幼児施設連絡会全館実施。 児童館・CAPS 協働による中高生の居場所づくり事業開始

子育てひろば利用者アンケート

(1) 調査概要

実施期間：2016年2月上旬

方 法：児童館で配付，回収

対 象 者：ひろばを利用している保護者

設問内容：

	つ つ じ ヶ 丘	東 部	国 領	多 摩 川	深 大 寺	富 士 見	佐 須	西 部	緑 ヶ 丘	調 布 ヶ 丘	染 地
回収数 (N=564)	70	56	27	60	56	52	38	59	53	57	36
回答者属性	○				○						○
回答者居住エリア			○								
利用頻度			○			○				○	
子どもの年齢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ひろばを知ったきっかけ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
参加したプログラム・良かったプログラム		○	○	○	○	○	○		○	○	○
ひろばに友達がいるか	○		○				○				○
子育て・家庭で困ったこと		○	○		○		○		○	○	○
相談相手の存在					○		○		○	○	○
ひろばに参加して良かったこと	○			○	○			○			
幼児／赤ちゃん対象ひろばについて			○								
「製作活動」について						○					
「サタデーひろば」「土曜日事業」について		○			○	○					
「子育て講座」について		○									
「オープンルーム」について					○						
「ランチルーム」について			○		○					○	
「プール」について									○		
サークル支援について					○						
通信・お便りについて							○		○		○
設備・備品について			○								
相談員の認知			○				○				○
相談員・職員への相談経験			○				○		○	○	○
他施設の利用経験				○	○						
今後の活動希望	○		○		○		○	○	○	○	○
その他意見・要望	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

【集計結果】

*1 施設のみ%集計となっており，複数回答が想定されるため，合計に反映できなかった

1. 子どもの年齢(集計対象 N=537)

	0歳		1歳	2歳	3歳以上	
小計	115				53	
細項目	6ヶ月未満	～1歳			3歳	4歳
	12	24			3	1
合計 (N=501)	151 (30.1%)		178 (35.7%)	115 (22.9%)	57 (11.3%)	
1施設のみ 2ヶ月～1歳 3ヶ月，～2歳で集計(36)						
再集計 (N=537)	365 (67.9%)					

2. 利用のきっかけ(複数回答 N=504)

友人・知人の紹介	115	
保健師(訪問)	98	
ホームページ	75	
市報	47	
元気に育て!!調布っ子	20	*市の発行する子育て支援情報誌(年1回)
すこやか	14	*子ども家庭支援センター
児童館のおたより	10	
市役所(各課)	9	
おむつ袋	8	*乳幼児のいる世帯に無料の「おむつ袋」を配付。 交付窓口の一つが児童館になっている。
母親学級	3	
その他	59	近所，通りすがりなど

3. 子育てひろば事業に参加して良かったこと（複数回答 N=185）

保護者への効果	お友達ができた	86
	情報交換ができた	42
	気分転換ができた	13
	他の子どもの様子を見られる	11
	悩み相談ができた	6
	遊ぶ方法を教えてもらった	5
	講座がある	5
	子どもの成長を感じられる	3
	外に出る機会になった	3
	息抜き	3
	子育ての不安が減った	2
	一人でない感じを得られる・安心	2
	どうしたらいいのかわからないことのヒントを得た	1
	子どもの色々な面が見られる	1
	子どもへの効果	体を動かすことができる
親子で楽しく遊べる		7
子どもに社会性が身についた		6
気軽に遊べる		5
たくさんの人の盛り上がりを感じた		4
生活リズムができた		2
子どもの興味対象がわかった（増えた）		2
人とふれあえる		1
プログラム等	家庭ではできないことができた	19
	職員タイムの遊び、歌など	8
	ランチルーム	1
	絵本の読み聞かせ	1
	季節行事が楽しい	1
	イベントが多い	1
設備等	おもちゃがたくさんある	8
	雨の日	4
	冬の寒い時期遊べて助かった	1

4. 相談員の認知度（N=101）

相談員がいることを知っている	知らない
78 (77.2%)	23 (22.7%)

5. 相談員・職員への相談経験(N=154)

困ったことや悩みを聞いてもらったことがある	ない	無回答
75 (48.7%)	71 (46.1%)	8 (5.1%)

6. 今後の活動希望(複数回答, ただし館によっては集計を実施していない。N=360)

音楽系	音楽遊び/歌遊び/わらべうた	48
	リトミック	45
	コンサート	35
	その他 ・音楽ムーブメント ・ママコーラス ・福田翔氏の講座	各1
運動系	運動遊び/運動会/体操・ストレッチ	69
	水遊び/プール	42
	外遊び・泥遊び・屋外遊具	39
	ヨガ・ベビーヨガセラピー	19
	フラダンス	10
	エアロビクス	7
	その他 ・ベビーダンス ・3B体操	各1
季節行事	おもいほり	40
	クリスマス会	38
	獅子舞	19
	入園おめでとう会	16
	季節の行事	2
	その他 ・ひなまつり ・お花見	各1
講座	病気・怪我の時の対応/救急法/危機管理	36
	デンタルケア・歯科衛生指導	25
	離乳食	21
	ベビーマッサージ	19
	おもちゃの選び方	9
	コミュニケーションの取り方	8
	幼児食	8

	イヤイヤ期	7
	しつけ・育児の仕方	7
	トイレトレーニング	5
	誕生学	4
	グループトーク／ワークショップ	2
	片付け	2
	その他 <ul style="list-style-type: none"> ・わくわく子育て ・卒乳「セルフねんね」 ・自転車の交通ルール ・言葉の発達 ・おじいちゃん・おばあちゃん向け講座 ・産後うつ ・幼稚園の選び方 ・萩原光氏の講座 	各1
室内	工作	34
	人形劇	29
	絵本の読み聞かせ	20
	お店屋さんごっこ	2
	英語での遊び／英会話	2
	その他 <ul style="list-style-type: none"> ・絵を描く ・新聞あそび ・手遊び ・布絵本 ・紙芝居 ・風船 ・映画会 	各1
その他	子どもと一緒にできる遊び	3
	成長に合わせたもの	2
	その他 <ul style="list-style-type: none"> ・人数制限のないもの ・友達がふえるもの ・手作りのもの ・消防車の見学 ・遠足 	各1

7. 感想（カテゴリー毎に整理，代表的なものを掲載）

<p>(1) 感謝</p>
<ul style="list-style-type: none">・お弁当を食べた後も遊べるのでありがたい・心のよりどころ・いろんなママと話ができ，情報を得ることができたり，悩み事が解決でき，嬉しい・家の中で二人きりでいると煮詰まるので，このような場所があって助かっている・悩んでいることや困っていることを相談させていただいたり，(中略)助けられていました。子どもの成長だけでなく自分自身にとって，すごく支えてもらっていた場だと思っています。・いつも声をかけてくれる・相談員の明るさ，存在が大きい・先生がしっかり遊んでくれるのが助かる。声かけも嬉しい。・職員にいつも親切に声をかけていただき，とても過ごしやすいです。・職員が親切で帰る時も名前を呼んでさよならしてくれるのが嬉しいです。・頑張らずに参加できるのが助かります。・土曜日のイベントがうれしい。父親も参加できて良かった・工作は家ではちらかるのが嫌で避けてしまうので，児童館でできるのが良い・保育園になる前の集団生活の練習場所としてお世話になりました・積極的に意見を取り入れてくださり嬉しいです・乳幼児専用室が夕方まで開いているので助かっています。・いろいろなママのお話が聞けてリフレッシュになっています。
<p>(2) 子どもの成長</p>
<ul style="list-style-type: none">・子どもがのびのび遊べて，とても成長したと思う・子どもがたくさんいるので刺激になっている・子どもの「できる」が育ち，成長を感じている・身体計測がいい。・毎日「今日は児童館？」と繰り返し聞いてくるほど楽しく遊ばせていただいています・幼児ひろばには，2・3歳児の子もたくさんいて刺激を受けられて，子どもも楽しそうです。
<p>(3) 設備</p>
<ul style="list-style-type: none">・おもちゃがたくさんあり，清潔で使いやすい・雨の日，暑い日，寒い日，児童館で遊べると助かる・曜日毎に遊ぶ道具が違うので，飽きずに来ています。・安全な遊び場を提供していただき，重宝しています。
<p>(4) ランチルーム</p>
<ul style="list-style-type: none">・環境を整えてくださっているので満足です。・毎日，決まった時間に開放されているから便利。・みんなで食べる場があるのが良い。交流の場としてもよい。・幼稚園でのランチの良い練習になりました。

<ul style="list-style-type: none"> ・昼食後も遊ぶことができれば利用すると思うが、それができないので利用しない ・お弁当を作るのが面倒なので、利用しない
(5) オープンルーム
<ul style="list-style-type: none"> ・空いていて、走りまわって良い ・手遊びタイムがないので、物足りない。 ・おもちゃが少ない

8. 意見・要望等（カテゴリー毎に整理，代表的なものを掲載）

(1) 事業全般
<ul style="list-style-type: none"> ・時間を（前後に）延長して欲しい ・1～2歳用のひろばがあれば嬉しい（歩き始めは幼児ひろばが怖い） ・土曜日も開放してほしい，増やして欲しい ・他のお母さんとゆっくりお話しできないので，座談会や交流会があると良い。 ・夏休み期間が一番遊ぶ場所に困るので，小学生のお昼ご飯の時間や，朝一時間だけでも開放してもらえると有り難いです。 ・学童クラブとの兼ね合いなどもあると思いますが，夏期の室内遊び，期間をもっと増やしてもらえるとありがたいです。特にプールに入れない小さい子は遊び場が欲しいです。 ・できたらもう1日（週3日に）増やしていただけると助かった ・イベントなどをやって欲しい
(2) 設備
<ul style="list-style-type: none"> ・全体にマットを敷いてほしい ・館庭（外）も利用できるとうれしいです ・温かくしてほしい ・空気清浄機を設置してほしい ・おむつ替えの部屋が別だと良かった ・ランチルームにレンジ，ポットなど ・ハンガーや棚 ・おもちゃの消毒等どうしているのか気になります ・黒板がちょうど子どもの頭にぶつかるので，カバーなどをしてほしい ・冬場の暖房による乾燥が改善されたい ・手指消毒を設置して欲しい
(3) 職員
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・職員によって，温度差がある。 ・職員はダンスやうたを恥ずかしがらずにやってほしい ・相談員が休みの日に職員がどなたも声をかけてくれない ・子どもの名前を間違えて覚えられていて悲しかった

(4) その他

- 靴箱が使用できると便利
- ランチタイムがもう少し長いと嬉しい

調布市児童館のあり方検討委員会設置要領

第1 設置

児童館についての現状を再検証し、今日の社会情勢や子ども、保護者のニーズに対応した児童館機能や役割、職員の専門性、地域連携の視点や方法などについて検討し、今後の児童館の方針を示すことを目的として、調布市児童館のあり方検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置する。

第2 構成

検討委員会は、次の各号に掲げる者（以下「委員」という）10人以内をもって構成する。

- (1)学識経験者
- (2)児童や青少年福祉に係る活動を行う市内民間団体が推薦する者
- (3)市民公募委員
- (4)調布市職員

第3 委員長

検討委員会に委員長を置くこととし、委員長は、委員の互選により選任する。

第4 意見の聴取

委員長は、検討委員会の運営上必要があると認めたときは、委員以外の者を検討委員会に出席させ、その意見を聴き、又は委員以外の者から資料の提出を求めることができる。

第5 庶務

検討委員会の庶務は、子ども生活部児童青少年課において処理する。

第6 雑則

この要領に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附則

この要領は、平成28年6月24日から施行する。

調布市児童館のあり方検討委員会 名簿

委員（敬称略）

		氏名	所属
1	委員長	鈴木 雄司	東京福祉大学社会福祉学部教授
2	委員	竹中 裕子	ちょうふ子育てネットワーク・ちょこネット理事長
3	委員	能登 和子	調布市健全育成推進地区代表者連絡協議会理事
4	委員	遠田 恵理	公立学校PTA連合会
5	委員	村山 洋子	市民公募
6	委員	橋本 芽衣子	市民公募
7	委員	山崎 真奈実	市民公募
8	委員	山本 雅章	調布市子ども生活部長
9	委員	猪股 久美子	調布市立つつじヶ丘児童館長
10	委員	大川 貴子	調布市立富士見児童館長

事務局

	所属	役職	氏名
1	子ども生活部児童青少年課	課長	小柳 栄
2	子ども生活部児童青少年課	課長補佐	板橋 秀樹
3	子ども生活部児童青少年課	副主幹	栗原 尚恒
4	子ども生活部児童青少年課子ども若者支援係	係長	若松 靖高
5	子ども生活部児童青少年課放課後児童係	主査	渡部 孝幸
6	子ども生活部児童青少年課子ども若者支援係	主任	山田 善康

業務支援 ： 一般財団法人児童健全育成推進財団

登録番号
(刊行物番号)

2016-269

調布市児童館のあり方検討委員会
報告書

発行日 平成29年3月

発行 調布市子ども生活部児童青少年課

〒182-8511 東京都調布市小島町2丁目35-1

電話 042-481-7534・7536
